



田辺三菱製薬

開発パイプラインと グローバル開発推進

2008. 11. 4

2008年度 第2四半期決算説明会

於：経団連会館

取締役 常務執行役員
開発本部長 柳澤憲一

1. パイプライン進捗
2. 重点開発プロジェクト
3. 開発プロジェクトトピックス

1. パイプライン進捗

<国内>

2008年5月7日からの変更点

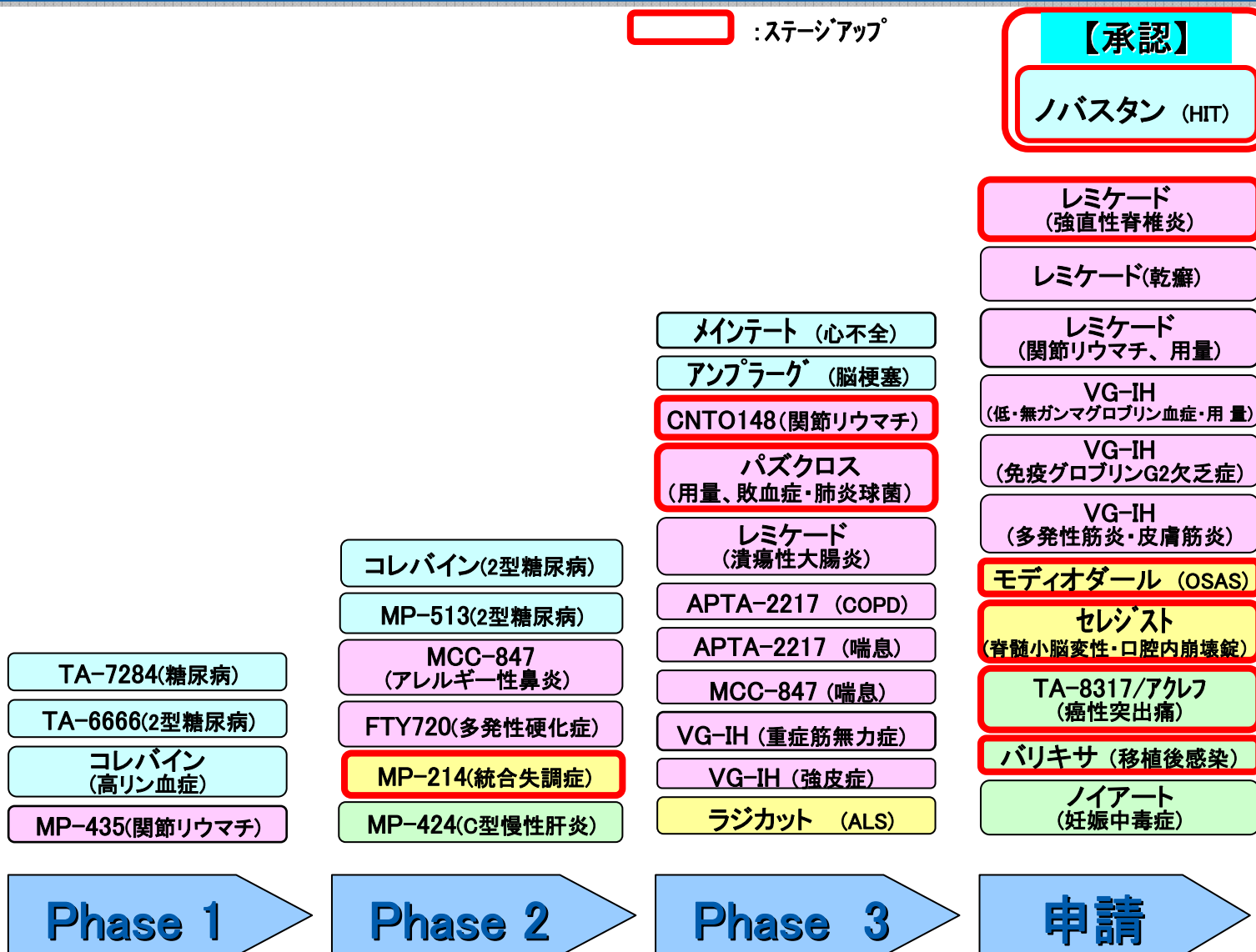


田辺三菱製薬

 : ステージアップ

- 代謝・循環
- 炎症
- 中枢
- その他

国内



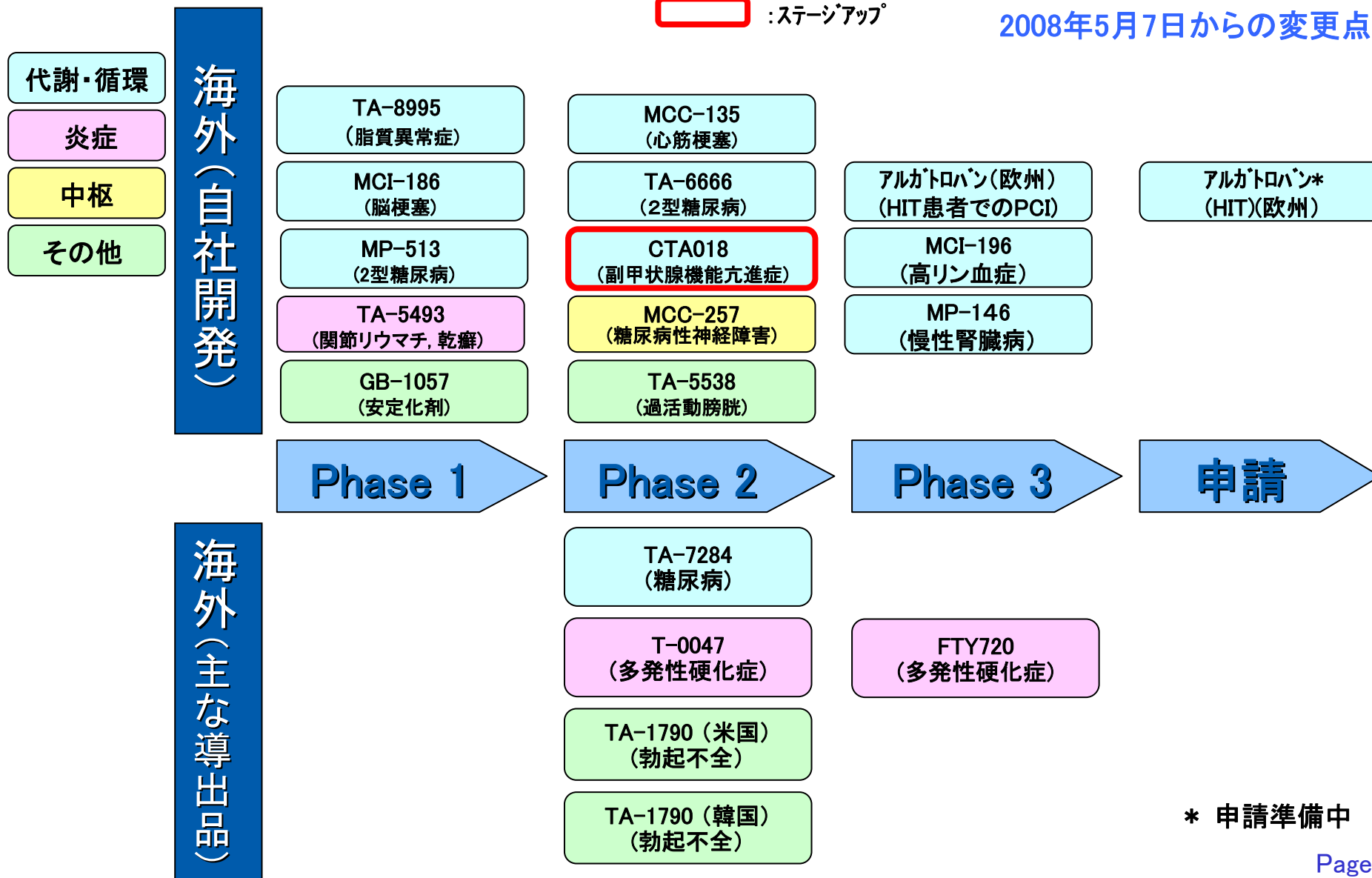
1. パイプライン進捗 ＜海外＞（自社開発、主な導出品）



田辺三菱製薬

 :ステージアップ

2008年5月7日からの変更点

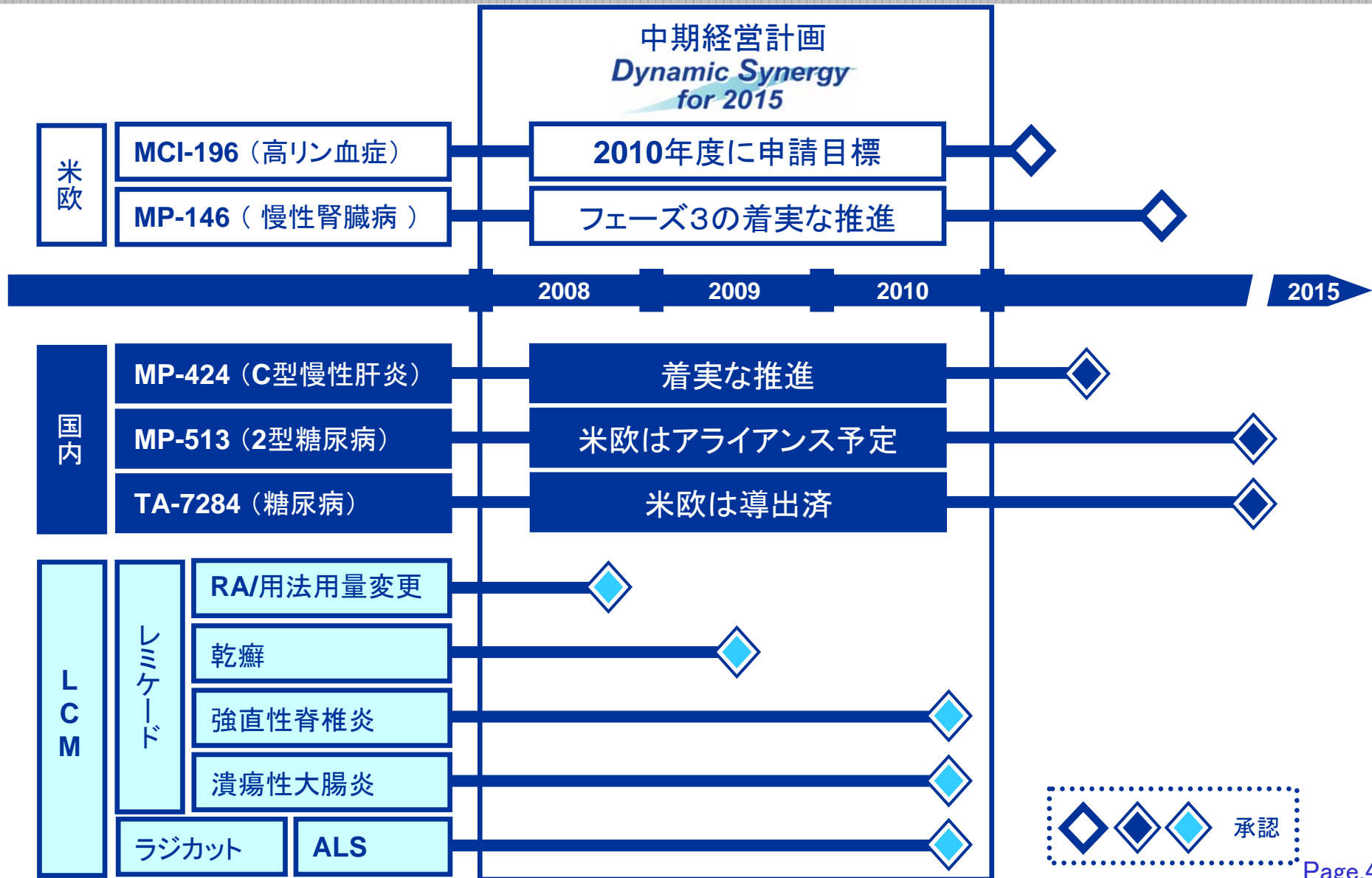


* 申請準備中

2. 重点開発プロジェクト



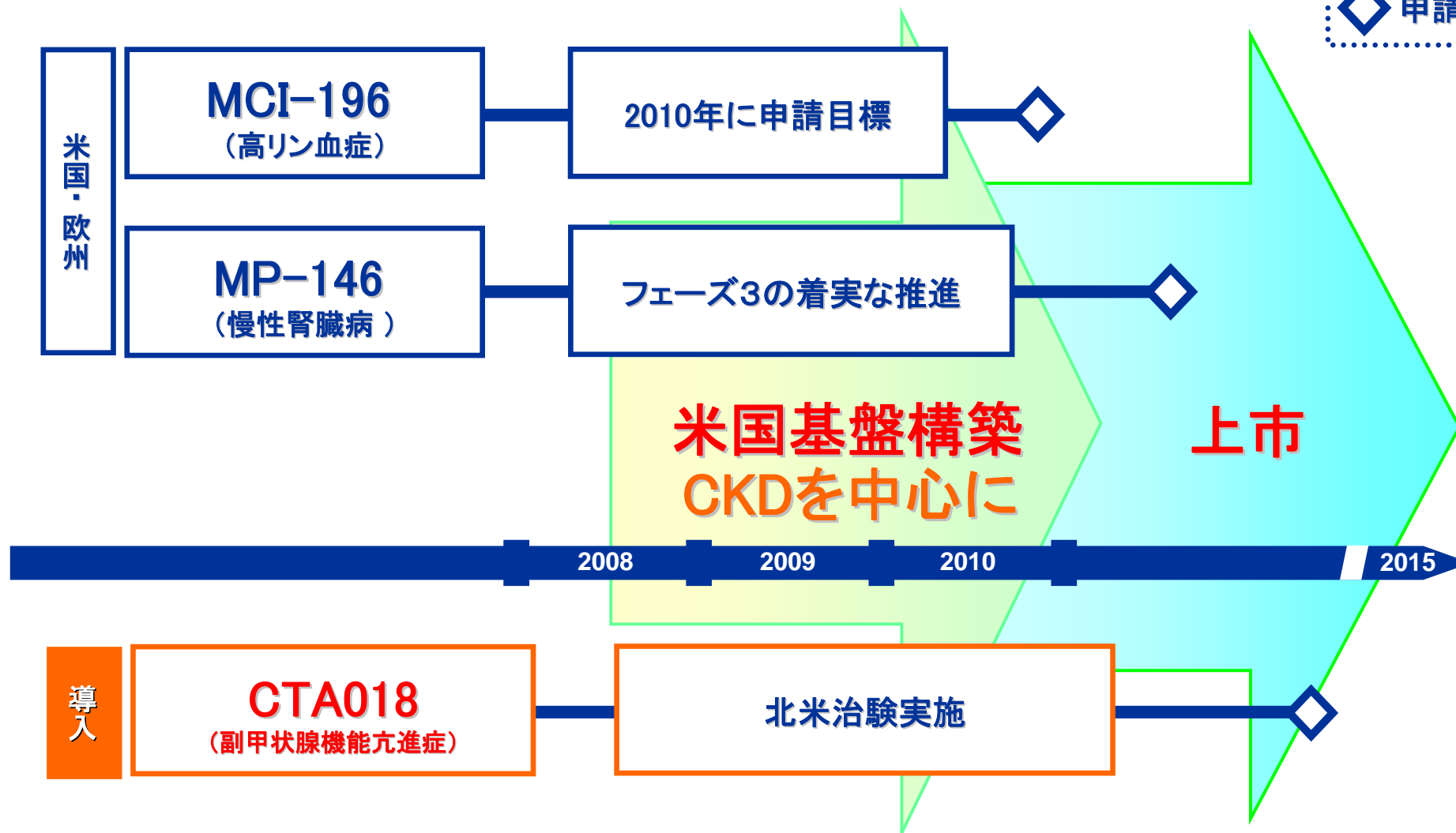
田辺三菱製薬



2. 重点開発プロジェクト 慢性腎臓病(CKD);米欧での開発



田辺三菱製薬



2. 重点開発プロジェクト

CTA018 (カナダ、サイトクローマ社からの導入)



【適応症】 慢性腎不全患者に見られる二次性副甲状腺機能亢進症治療薬

【ステージ】 Phase 2

【当社権利】 米国および日本を含むアジアにおける独占的開発・販売権

【腎領域】

高リン血症治療薬として開発中のMCI-196および慢性腎臓病治療薬として
開発中のMP-146に続く第三のパイプライン

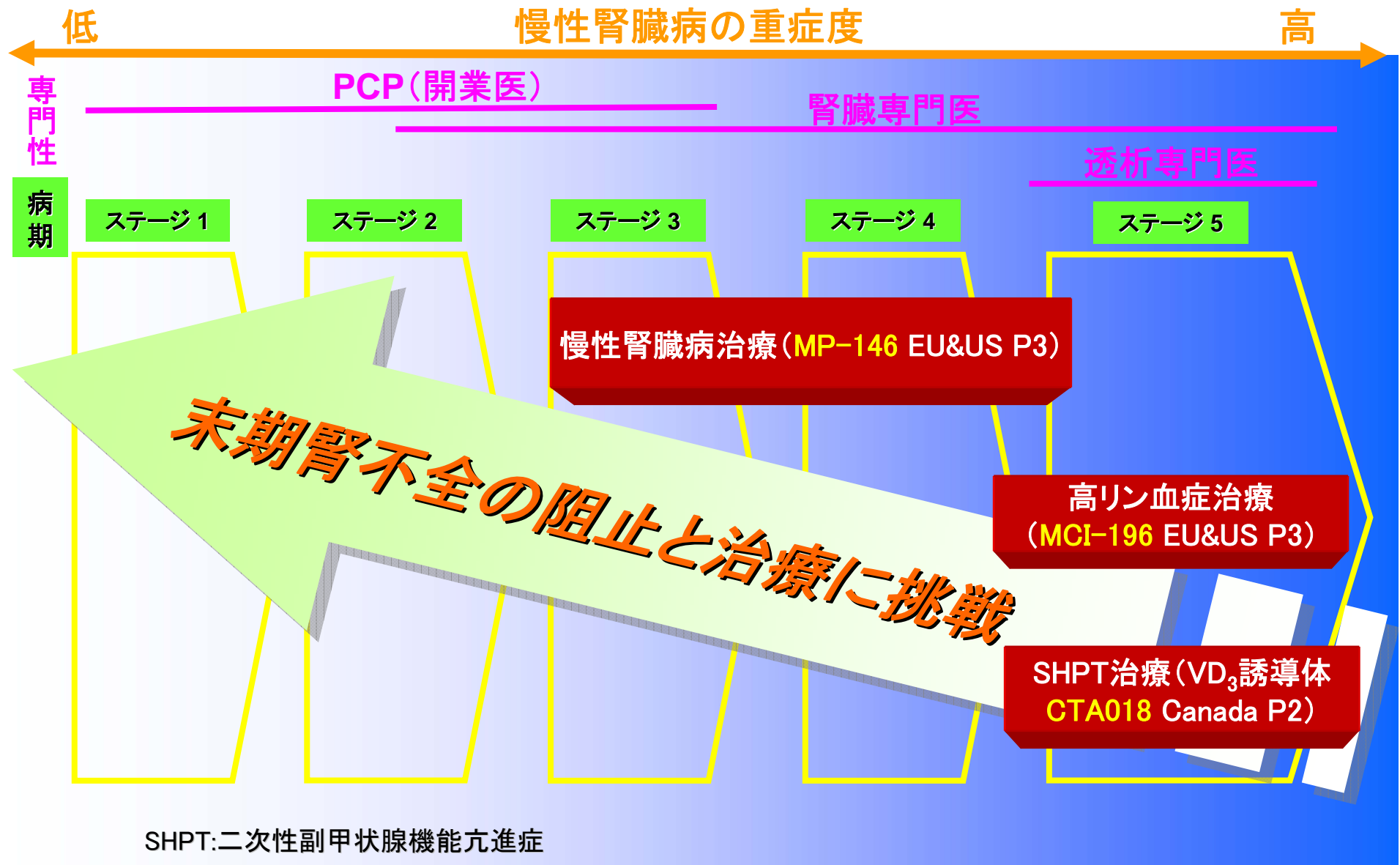
【米国事業基盤構築】

腎不全治療薬の研究・開発・販売において幅広い経験と実績のある
サイトクローマ社のノウハウを活用予定

腎領域(慢性腎臓病)の開発プロジェクト



田辺三菱製薬

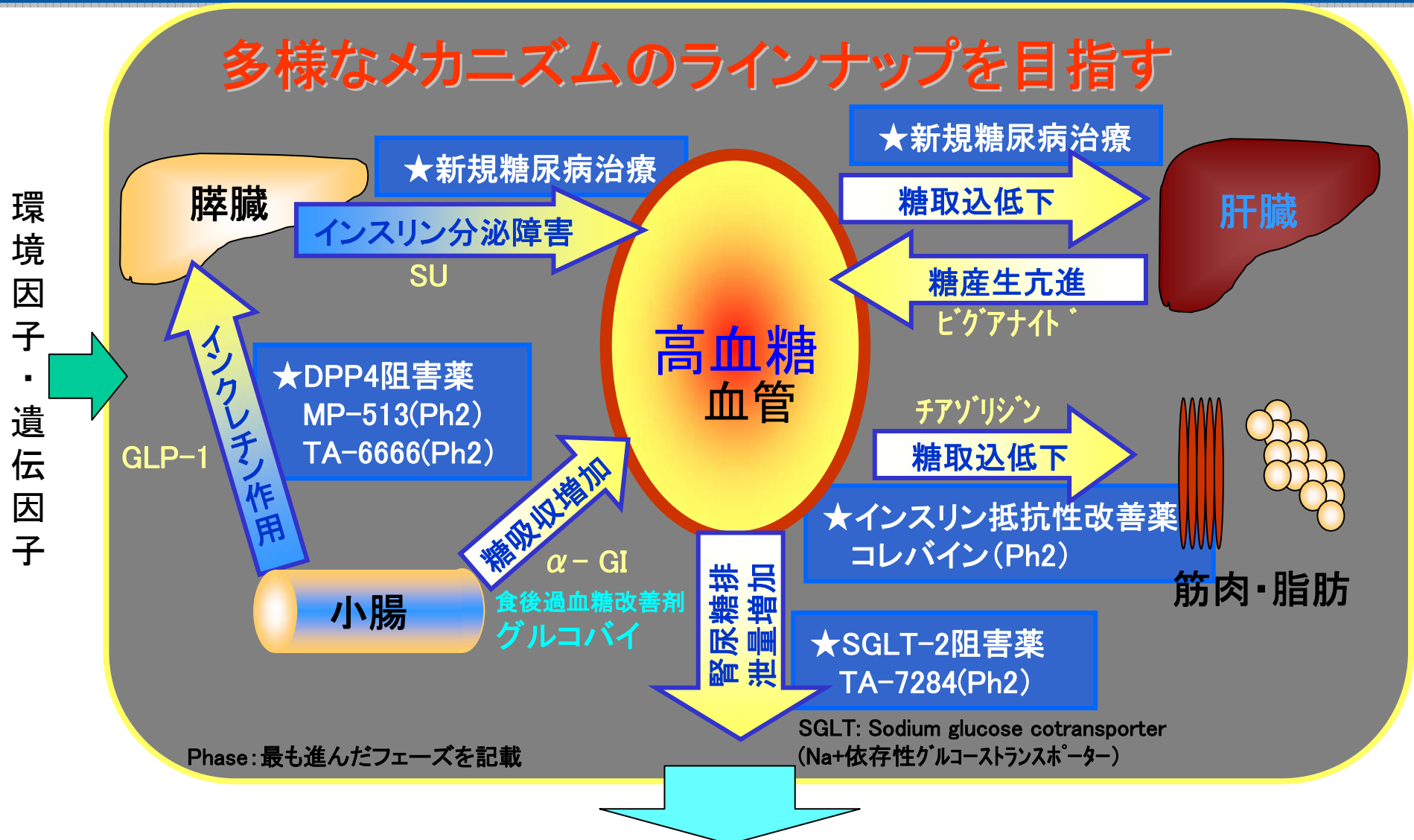


2. 重点開発プロジェクト

(MP-513、TA-7284): 糖尿病への取り組み



田辺三菱製薬



肥満・糖尿病性合併症治療薬へ展開

糖尿病～腎疾患までのトータルケア戦略



「糖尿病」を最重点疾患と位置づけ、疾病のトータルケアを追求する

- ・メタボリックリスク(肥満・脂質異常)～合併症(腎障害・透析)まで
- ・創薬研究では、血糖低下から、多面的に血管障害・腎障害治療薬へと展開



- ・糖尿病パイプラインを大型製品へ育成
- ・海外は、導出、共同開発販売等を展開

- ・腎領域3品目の早期承認取得
- ・自販体制の構築、強化

↑

・戦略加速化のため戦略的アライアンスを実行(開発・販売)

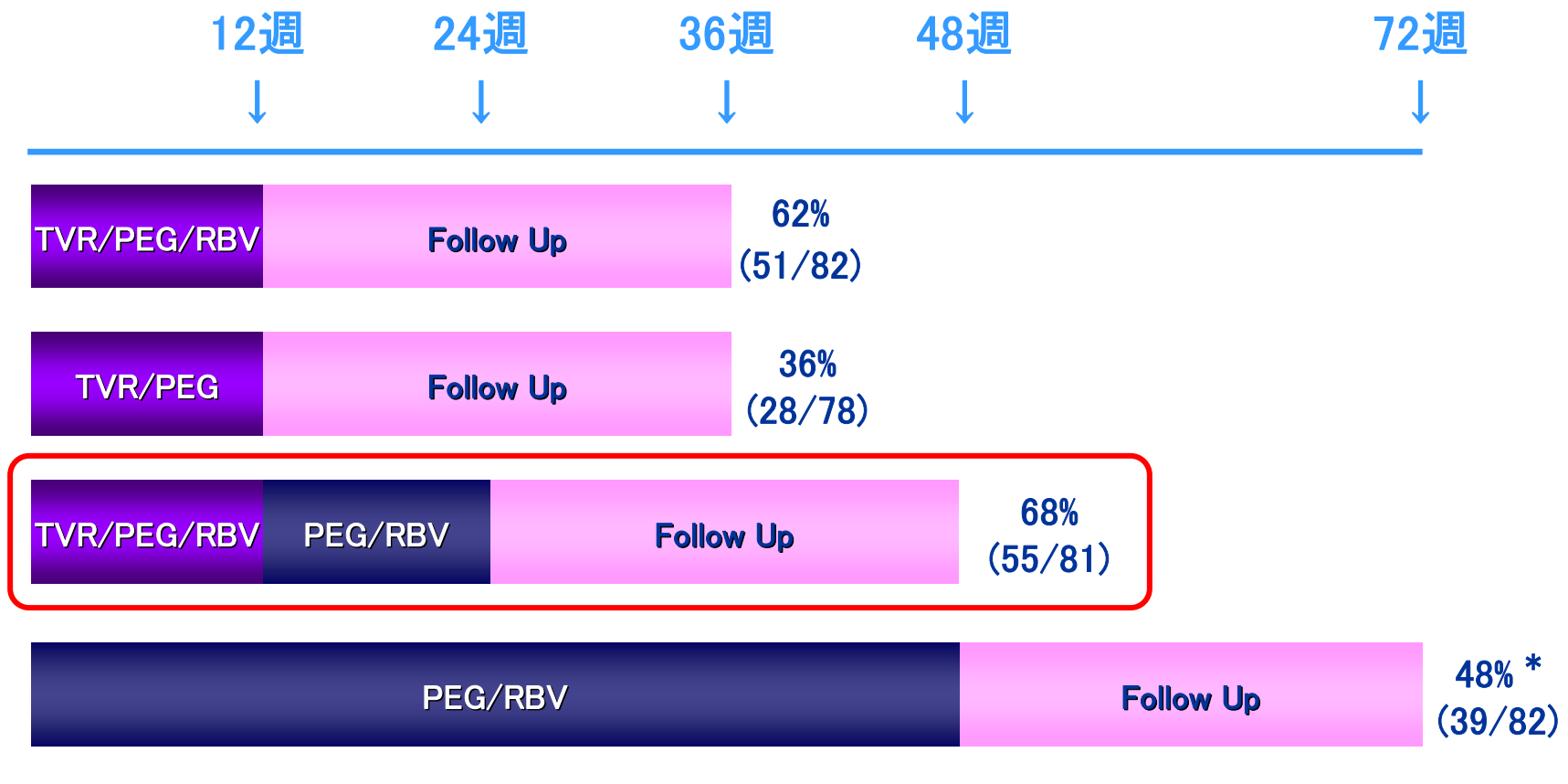
2. 重点開発プロジェクト

(MP-424: Telaprevir); C型肝炎への取り組み



田辺三菱製薬

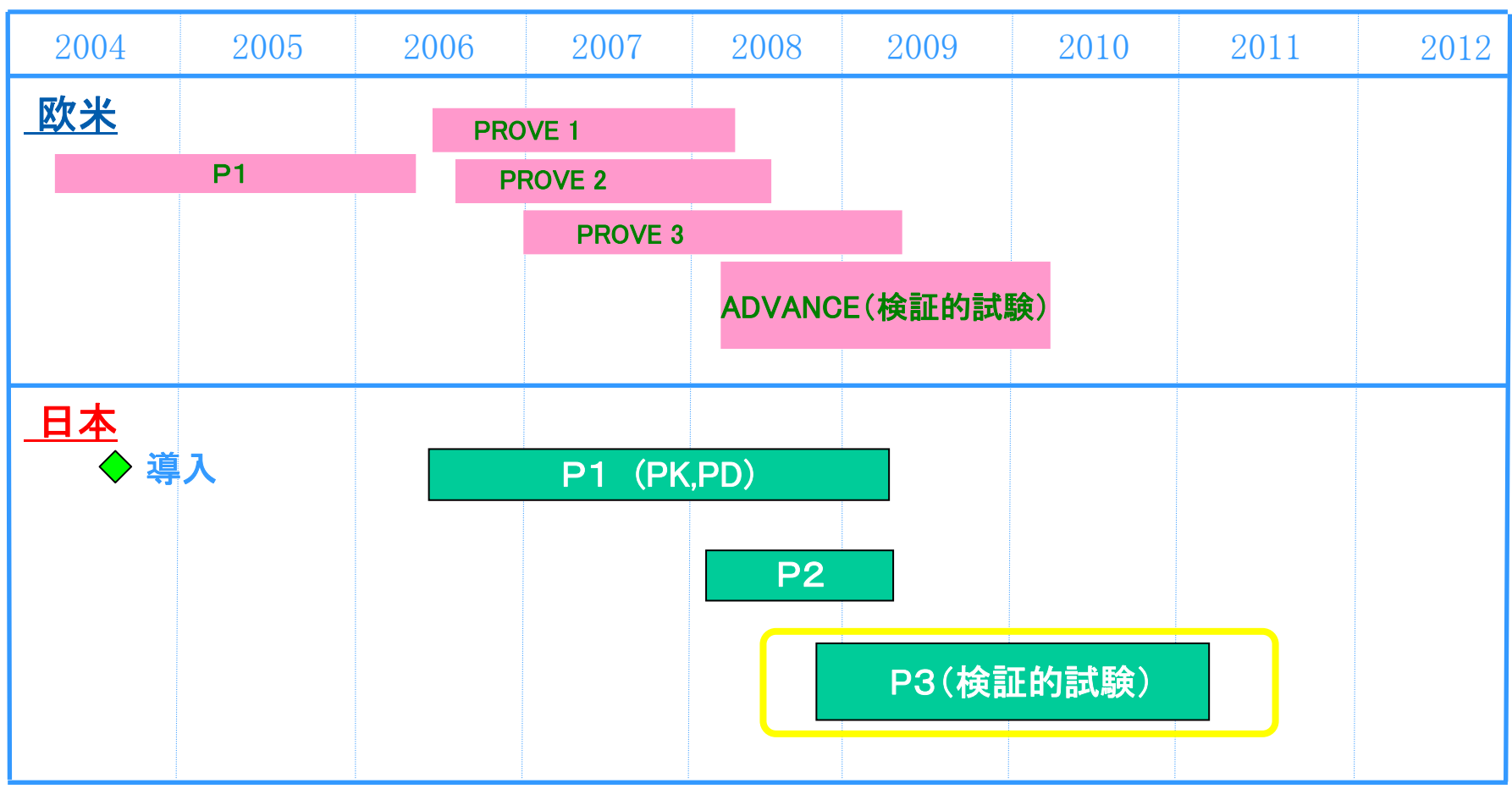
PROVE 2 : Genotype 1 患者のSVR24



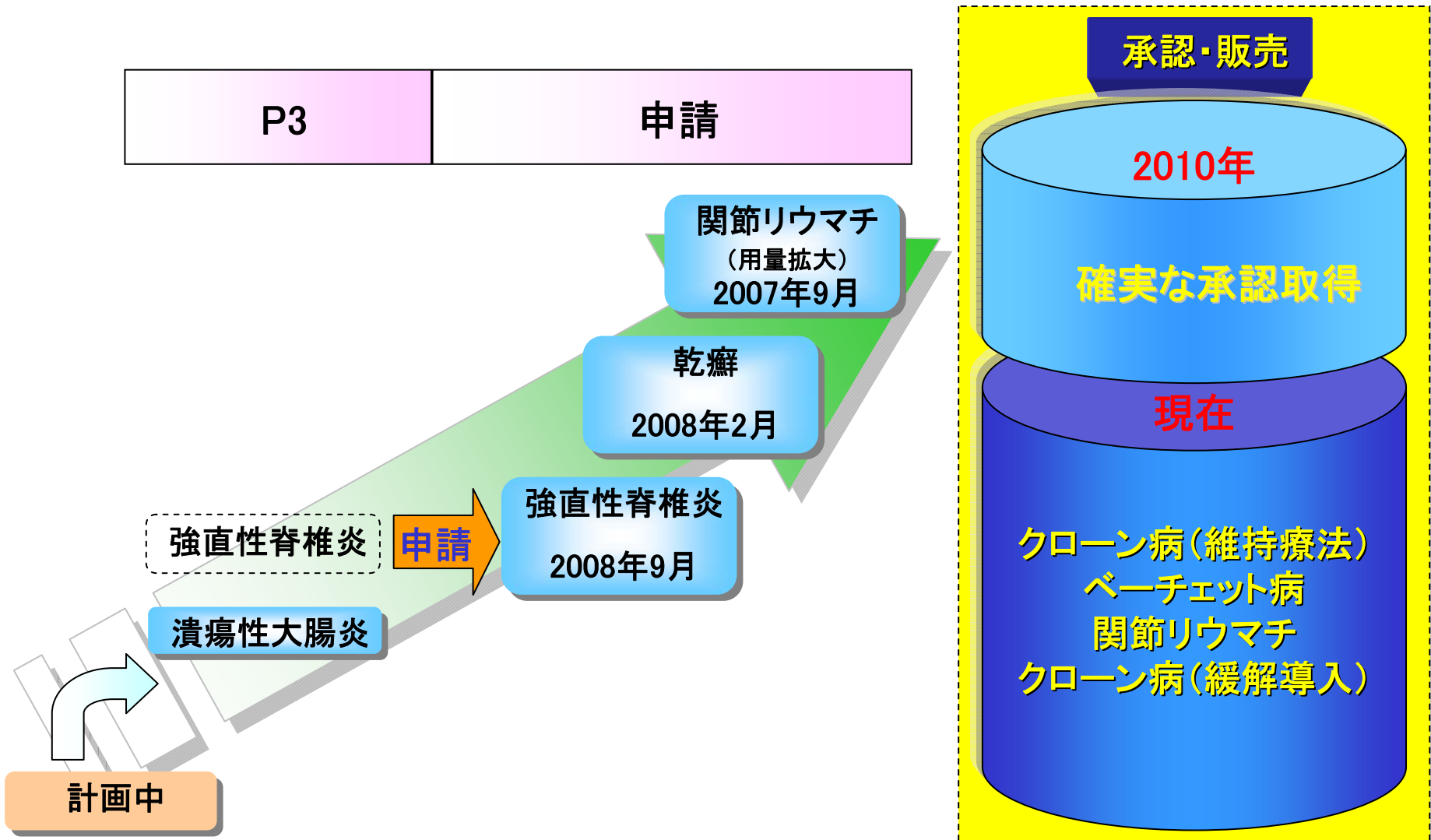
Telaprevir (MP-424/VX-950)の開発スケジュール



田辺三菱製薬



2. 重点開発プロジェクト レミケード LCMトピックス

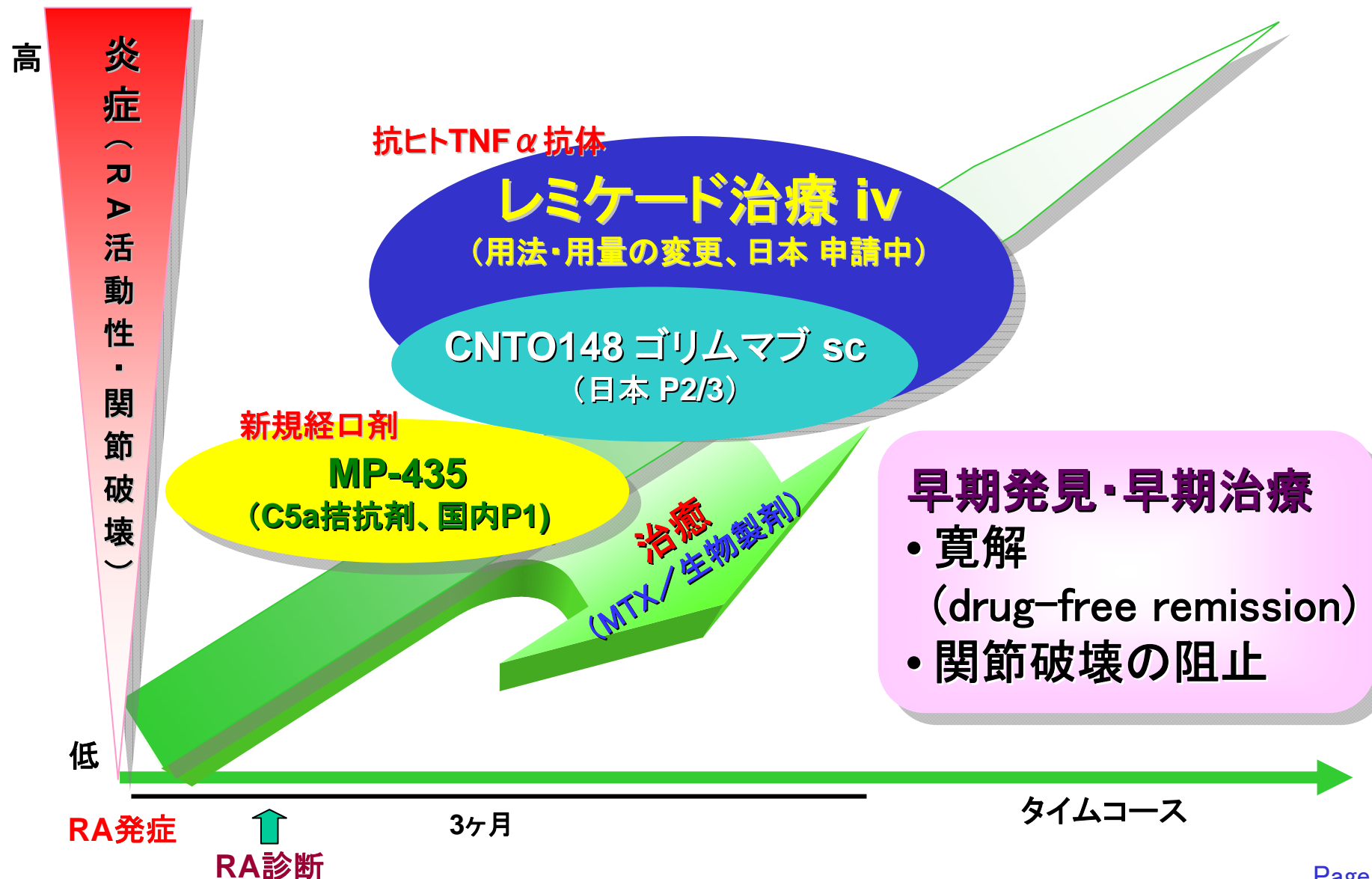


RA治療の開発戦略

開発プロジェクト(REC、CNTO148、MP-435)



田辺三菱製薬



3. 開発プロジェクトトピックス 多発性硬化症 (FTY720, T-0047)



田辺三菱製薬

FTY720

【開発状況】 Novartis社へ導出、海外P3
国内共同開発P2

【一般名】 Fingolimod

【作用機序】 S1PR agonist
二次リンパ系組織、胸腺髄質からの
リンパ球のリンパ管、血管への移出
を抑制 (first in class)

海外 P2継続試験成績 (3年間)

FTY720 開始用量	1.25mg	5mg
無再発 (%)	68%	73%
活動性脳病 巣無し (%)	89%	

2009年に欧米申請予定
(2008年4月 Novartis社プレスリリース)

T-0047

【開発状況】 GSKへ導出、海外P2

【一般名】 Finategrast

【作用機序】 α 4 antagonist
リンパ球の組織浸潤を抑制
(経口剤、first in class)

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、当社が一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。